

2020年
1月1日
第420号



JR東海労



http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R東海労働組合

発行人 木下 和樹
編集人 高山 浩



会社の理不尽に立ち向かい、
職場から全組合員の闘いで、
今年も共に闘う仲間を増やそう！

労働運動の炎を燃やし続け、さらなる組織拡大を実現しよう！



中央執行委員長 木下 和樹

組合員・ご家族・OBの皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。旧年中、JR東海労働運動を職場から地域から担って頂いたこと、また支えて頂いたことに心より感謝申し上げます。中央執行委員会を代表し、新年を迎えてのご挨拶と闘う決意を申し上げます。

安倍首相の通算在職日数が歴代1位となりました。2012年の第二次政権発足以降、14年には憲法解釈を変更し集団的自衛権の行使を容認、15年には安全保障関連法を成立させました。原発再稼働を推進し、TPPに参加し、消費税率も2度引き上げ、昨年10月からは税率が10%となりました。7月の参議院選挙の結果、改憲勢力は参議院で改憲発議要件である3分の2の議席を割り込みました。しかも自民党は公示前の勢力から9議席減りました。これは安倍政治への逆風が吹き始めたといえるのではないのでしょうか。改憲についても安倍首相は、「自民党改憲案にとらわれない、2020年末までの新憲法施行の旗は降ろさないが固執もしない姿勢」を示しています。しかし安倍首相は自らの手による憲法「改正」をあきらめたわけではありません。政治の目的が、国民の幸福を最大限に追求することだとするならば、安倍政権は国民を真逆の方向に引っ張っています。私たちは今年こそ安倍政権を退陣させ、平和で、安全に、安心してそしてゆとりをもって働き暮らせる社会の実現に向けて闘わなければなりません。

2019年度中間決算において、JR東海は過去最高の決算を記録し、内部留保額は3兆数千億円に達したといわれています。このように巨額の内部留保を抱え込むのは、リニア中央新幹線建設のためであるのは明らかです。その計画・工事は、様々な問題が顕在化しつつあり、経営幹部も「2027年名古屋開業」について遅れの懸念を示しています。最高益の連続更新は、年休抑制・失効、一方的休日出勤の強要、度重なる効率化といった労働者の犠牲を伴って達成されたものです。特に勤務扱いについては、就業規則、労働協約、そして法律をも会社の都合のよいように解釈して、長年にわたり社員に押し付けてきたのです。会社は合法性を装いますが、私たちは「おかしいことはおかしい」と職場で声を上げ、「診断書強要都労委」「年休裁判」そして「年休権裁判」など第三者機関も活用して会社の姿勢を糾すべく闘ってきました。新幹線地本が中心となって闘ってきた「診断書強要都労委」闘争では、会社の主張が全面的に退けられ、私たちは完全勝利を勝ち取りました。また東京と大阪で原告を立てた「年休裁判」では「東海労さんのおかげで年休が出るようになりました。がんばって下さい！」と、若い社員に声をかけられるなど、私たちの主張の正しさが職場で浸透しています。そしてその現れとして、昨年は水野さん、寄本さん、池田さんがJR東海ユニオンと決別し、JR東海労に加入しました。東海の地において労働運動の炎を消さないためにも、今年も全ての闘いを組織拡大に結実させ、JR東海労の未来を切り拓くべく職場で奮闘して行くことではありませんか。中央本部も精一杯奮闘する決意です。共にがんばりましょう。

平和・人権・民主主義を守るために闘おう！



JR総連執行委員長 榎本 一夫

JR東海労の組合員とご家族の皆さん、穏やかな新年を迎えたいでしょう。

大をはじめ、「年休権裁判」「不当労働行為救済申し立て事件」「共同本人訴訟」「私事欠勤本人訴訟」などの裁判闘争と労働委員会への救済の取り組みご苦労様でした。

また、台風15号、19号、21号の被災者に対する義援金の取り組みにも感謝を申し上げます。被害を受けた組合員の皆さんには、お見舞いを申し上げます。

さて、安倍首相は昨年11月20日に通算在職日数の最長記録を106年ぶりに更新しました。戦後の一割近くの年数を首相として君臨し、国民的要請のない法案を強引に成立させました。また、人体や環境、生活に重大な影響を及ぼす「改正水道法」「漁業法」「国有林伐採法」そして「種子法」を廃止し、さらに「遺伝子組み換え食品の輸入拡大」

大「ゲノム食品の解禁」などの法制改正も行いました。国会では、金がらみの不祥事や失言による閣僚の辞任、官僚による付度、税金の私物化など、長期政権に起因する弊害が際立っています。国会で追及をされると「偽造とねつ造、資料の破棄」で開き直る姿に「偽造・ねつ

造、安倍晋三という「新語」までつくられる始末です。その一方で、米国防政権の要請には親密に応える姿勢に、米国マスコミから「トランプット」と揶揄されています。安倍政権の8年の国会運営と外交を一言でいえば、「国民に圧力、米国に活力」といえるでしょう。

しかし、安倍政権の支持率は依然として50%前後で推移しています。いよいよ安倍政権の悲願である憲法改正のための憲法審査委員会が開催され、議論が行われていきます。憲法改正を阻止し、同時に、「暴君」「トランプター」など、JR総連の組織破壊を目的にした攻撃を許さず、「平和・人権・民主主義」を守るため断固として闘おうではありませんか。JR総連は、JR東海労と共に連帯して闘うことを決意して新年のご挨拶とします。

写真で振り返る 2019年の闘い



第34回臨時大会 1月20日



定年退職を祝う会（静岡地本） 3月16日



大阪車両所分会結成大会で、多田さんが裁判の勝利的和解を報告 8月25日



JR総連第35回定期大会で 松山代議員 トップ発言 6月3日



水野さん、寄本さん歓迎集会 4月11日



川本裁判報告集会 10月18日



年休権共同本人訴訟決起集会 9月20日



組織拡大実現サマーキャンプで盛り上がった余興 8月22日

J R 東海労は労働組合らしい労働組合だ！

昨年加入した3名の仲間との新春座談会



昨年J R東海労に加入して頂いた水野良則さん、寄本智さん、池田裕生さんの3名は、J R東海労組合員として初の新年を迎えました。3名の今年の決意などを語って頂きました。

【聞き手】本部教宣・法対部長 高山 浩

言いたいことが言えるようになった！

【高山】 新年明けましておめでとうございませう。今日は大変忙しい中、お集まり頂きまして大変ありがとうございます。J R東海労に加入して、早いもので半年以上が経過しましたが、あらためて今の心境、思っていることは何でしょうか。

【寄本】 組合を変わって良かったという気持ちです。職場で今まで言いたいことが言えなかったのが、言いたいことが言えるようになった。今まではとほとほで済んで、仲間の絆も強い。あらためて思いました。

点呼立ち会いや異常添乗など嫌な思いもあつたけど、それを乗り越えて今に至っています。

【水野】 明けましておめでとうございませう。今まで一人で裁判をしていましたが、移籍して多くの仲間が応援してくれて、本当にありがたいです。裁判は市中の弁護士に依頼していましたが、会社の事情を説明しても理解してもらえませんでした。逆に、それだけ特殊だということも分かりました。今はJ R東海労から先生を紹介してもらい、会社の裏側も熟知していたので非常に心強いです。

充実した生活を送れるようになった！

【高山】 ありがとうございます。やほり、J R東海労に入って良かったことが確認できたかと思えます。それでは、J R東海労加入前と後では、何か変わったことはありますか。例えば、仕事のことや私生活、プライベート、趣味など、何でもいいです。

【寄本】 分会の執行委員をやらしてもらったこと



になりました。今までは家で酒飲んだりパチンコに行ったりしてたんですよ。今では、色んな行事に参加させてもらい、勉強にもなる。ライフスタイルが一変しちゃった。有意義な生活になって、妻が喜んでる(笑)。

【池田】 ユニオンに所属していた時は、誰にも相談することができず、一人で悶々として過ごしていた。J R東海労に加入して以降、皆さんが応援してくれるし、仕事以外の悩みも相談に乗ってくれる。加入して本当に良かったと思います。

【水野】 生活面はほとんど変わってないです。ただ、些細なことでも本部委員長が連絡をくれたり、色々相談に乗ってくれて、安心感がある。ユニオンに話しても結局会

社側の意向に沿って論破されるだけ。以前は全く付き合ひはなかったけど、今は外で飲む機会が増えて楽しんでます(笑)。

嫌がらせには、仲間が毅然と抗議した！

【高山】 良くなった面があつて良かったですね。しかし、会社などからの嫌がらせもあつたと聞いていますが、そのところはどうかでしょうか。

【寄本】 最初の1、2ヶ月くらいはなかつた。【池田】 私は点呼立会いだけでなく、ユニオンに所属していた時は、一切なかつた車掌の添乗が何回も何回も続きました。しかも、余り指摘事項がないのに繰り返されたのは、逆に無言の圧力を感じました。しかし、仲間が会社に抗議したり



してくれて、大変ありがたいです。本人もいると思いますが、そのところは何にも心配いらないですね。それにして、ユニオンにいるときは普段通りに仕事をしています。【水野】 裁判をやっているからか、出向先だからなのか判りませんが、嫌がらせは全くなかつたです。実家にも来ると聞いていたので親に連絡したところ、「そんな奴はい返してやる！」と待ち構えていましたが、結局来なかつた(笑)。

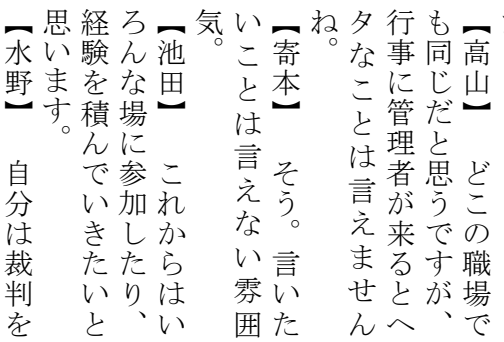
【寄本】 嫌がらせに対しては、組合の仲間が抗議するなどしてくれた。【高山】 やっぱ、嫌



J R東海労に加入して本当に良かった！

【高山】 それでは、J R東海労に加入して良かったところは、どうでしょうか。

【寄本】 組合に対する意識が強くなったね。今までは、ただ参加するだけ。今は、年休裁判で闘【4面に続く】



【3面より続く】
 っているもので、年休に對する考え方も変わった。
 【池田】 組合員の皆さんが、私のことを大変心配してくれて、家族のようになつてくれました。ユニオンの頃はなかつたことで仲間の大切さを改めて感じました。
 【水野】 会社の問題点は山積しています。今は会社側のやりたい放題で、ユニオンは同調しているだけ。それでは問題は何も解決しない。JR東海労に入ったからこそ、会社の異常性が見えてきたし、世間一般の常識との乖離が大きいことも分かった。まさに井の中の蛙。年休が入らなくて当然という考えが会社から植え付けられていたが意識が変わった。労働者の権利なんだと。さらに、裁判を通じて会社が平気でウソを言うのもわかった。「超勤整理簿」が偽造されていたのは衝撃でした。給料に直結す

【高山】 そうですか。JR東海労に入ってから、考え方が変わったり、会社の異常性が見えてくるなど、対比が明確になりました。
 仲間との交流は
 楽しい！
 いろんな経験を
 積みたい



【高山】 そうですね。JR東海労に入ってから、考え方が変わったり、会社の異常性が見えてくるなど、対比が明確になりました。
 【寄本】 組合のいろいろな行事に参加したいと思ったり、旅行やレクは楽しみです。JR東海ユニオンのときは、あまり参加していなかった。JR東海労に来てから楽しい。組合員同士が団結している。JR東海ユニオンでは、自分の事しか考えていない人が多かったです。
 【池田】 これからはいろんな場に参加したり、経験を積んでいきたいと思えます。
 【水野】 自分は裁判を

2本やっている最中なので、当面は裁判優先に取り組みます。勝利を目指します。
 JR東海労に来て
 たら楽しいぞ！
 【高山】 それぞれ、目標を持っていくことは本当に良いことだと思えます。共にがんばっていきましょう。では最後に、他労組の組合員に言いたいことがあったら、一言お願いします。
 【寄本】 こっち（JR東海労）に来たら楽しいぞ。みんなでやれるぞ。
 【池田】 ユニオン組合員には不満はないけど、ユニオン指導部は会社と一体となつて何もやってくれない。ユニオン若手は「おかしい」と思っているが、言葉では言えない。JR東海労が一番労働組合らしい組合であることははっきり言えます。

【水野】 会社がおかしいと思っている人はたくさんいる筈。でも、ユニオンに相談したら助言してくれますか？改善されますか？それはいいですね。人員削減が声高に叫ばれている昨今、私のように会社からの嫌がらせで辞めようとしている人は他にもいるでしょう。自分の身を守る意味で、一度現実を見据えて下さい。辞める決断をする前に、JR東海労に相談して下さい。真剣に向き合ってください。自身の一生を左右することだから。
 【高山】 ありがとうございます。私たちも見習わなければなりません。今年一年、共にがんばっていきましょう。今日は、大変ありがとうございました。

鉄道ファミリーは
 組合と共に歩み
 皆様をしっかりとサポートします

今年もよろしく
 お願いします

JR総連・各単組賛助団体
 (株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
 電話 JR 058-4114-5 NTT 03-3490-3862

各地本旗開きの案内

新幹線地本 1月12日13:00
 中小企業センター
 静岡地本 1月14日13:30
 静岡労政会館
 名古屋地本 1月29日13:00
 ワークライフプラザ れあろ
 新幹線関西地本 1月13日13:30
 西町甲東会館

各地本定期委員会の案内

新幹線地本第25回定期委員会
 2月23日 場所は後日発表
 静岡地本第29回定期委員会
 2月27日 静岡労政会館
 名古屋地本第30回定期委員会
 2月26日 牧野コミュニティー
 新幹線関西地本第25回定期委員会
 2月24日 吹田サンクス

組織拡大、労働条件改善、リニア建設反対！ 職場から闘いを展開しよう！

各地本、OB会長からの新年の決意

新幹線地本 杉澤 秀則



明けましておめでとう
ございます。昨一年間の
新幹線地本の取り組みへ
の多くの激励、ご協力に
あらためて感謝を申し上
げます。

昨年は、新幹線地本と
して水野良則さんを新た
な仲間として迎え入れる
ことができました。水野
さんに続き、大阪運輸所
分会でも2名の仲間が加
わりました。

さて、今年の闘いは何
ととっても戦後75年の節
目に何としても改憲を目
論む安倍政権を許さず、
改憲阻止の広範な戦線を
いかに構築するかです。
そして、「働き方改革」
と称した労働者搾取の攻
撃を跳ね返すことです。
職場においては、一方
的な休日出勤指定や年休
裁判、診断書強要中労委
に見られるように、JR
東海における年休及び勤
務の扱いが「全くデタラ
メ」であることが満天下

に明らかになっていま
す。さらに、職場から追
い詰めるための闘いを強
化していきましょう。

ほころびだらけのリニ
ア中央新幹線建設推進の
ための経費捻出は、相次
ぐ効率化と要員削減、賃
金削減をもたらす、職場
は疲弊して安全が脅かさ
れていきます。特に、新幹
線乗務員の労働強化は留
まるどころを知らず、不
満の声は頂点に達してい
ます。今年も多くの闘い
に挑まなければなりません
が、全ての闘いを組織
・拡大に結実するために
奮闘しよう。

静岡地本 半場 弘恭



明けましておめでとう
ございます。昨一年間の
静岡地本の取り組みに対
する激励やご支援に対し
て、あらためて御礼を申
し上げます。

昨年は、副委員長4名
体制の下で組織体制を強
化をしつつも、静岡地本
としての大きな闘いは展

開できませんでしたが、
年休裁判、診断書都労委
と連帯する取り組み、本
人の同意なき一方的な休
日出勤指定反対の闘いを
展開してきました。

新幹線地本と新幹線関
西地本では、組織拡大が
実現しました。静岡地本
も組織拡大に向けて取り
組んでいます。実を結
ぶことができませんでし
た。職場での身近な問題
に対して目に見える闘い
を展開し、労働組合とし
ての必要性や価値を訴え
られていないことが原因
の一つと考えています。
今年も職場で、目に見え
る闘いを展開していくこ
とを課題として取り組
みます。

そして、安倍政権の暴
走を許さず憲法9条を守
り広める仲間を増やし、
安心して働ける職場と安
心して暮らせる社会を目
指して取り組みます。
その他、安全問題、リ
ニア建設反対、原発反対
の闘いなど多くの課題が
あります。関係地本、団
体、地域住民と連帯し、
労働組合として当たり前
の姿を見せ奮闘してい
ます。共にがんばりま
しょう。

名古屋地本 荻野 隆一



新年明けましておめ
どうございます。昨一年
間の名古屋地本の取り組
みに対し、多くの方から
のご指導ご協力ありが
うございました。

昨年もまた災害の多い
年でした。JR総連やJ
R東海労の仲間にも多く
の被害が出ました。この
ようなときにこそ労働組
合の真価が問われ、私
たちの組合が真価を發揮
たと感じています。一方
で、災害をもたらしてい
る原因を労働組合からは
つきりさせ、利益第一で
は人間が人間らしく生き
ていけないことを主張
し、広めていくことが大
切と感じた1年でした。

名古屋地本としては、
昨年は「新しい人事・賃
金制度等」の見直し提案
に対して、反対する闘い
をつくり出してきまし
た。65歳定年まで働ける
労働条件、乗務員の特殊
性を認めず一部の社員の
みの利益になる制度の問
題を職場で訴えてきまし
た。情報はシリーズ化し、
15号を超えて発行しまし
た。さらに継続して訴え
ていきます。

長期化した安倍政権
は、さらに傲慢になり何

新幹線関西地本 畑野 浩孝



新たな年を迎えるに当
たってご挨拶申し上げます。

新幹線関西地本は昨一
年間、「年休」をキーワ
ードにした職場と第三者
機関を活用した闘い、一
方的休日出勤反対の闘
い、「新しい人事・賃金
制度」の見直し反対の闘
い、災害時における勤務
認定をめぐる闘い、平和
を希求する闘いなどを展
開してきました。この闘
いの只中で、水野良則さ
ん、寄本智さん、池田裕
生さんがJR東海労に加
入されました。まさに私
たちの運動の正当性が証
明された成果です。

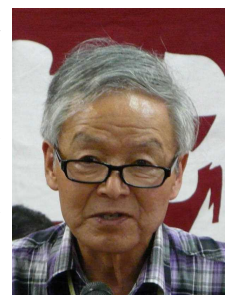
また、約2年にわたっ
て不当な勤務認定により
損害を受け、出向会社を
相手に裁判で闘ってこら
れた多田さんが、完全勝
利の和解を勝ち取りまし
た。そして、私たちの最
先頭で「年休裁判」を闘
っている大谷川さんに、

組織内外からの連帯の輪
が広がっています。
今後、組合員の高齢化
で、森下君、水野君、松
山君をはじめとした若い
人たちのためにも、残さ
れた時間の中で最大限取
り組んでいくことが私た
ちに課せられた使命で
す。新たに「年休権共同
本人訴訟」に決起した山
本さん、今田さん、浦谷
さん、柳楽さんと共に、
勝利に向けた闘いを展開
します。

自らが現実に立ち向か
い考え、方針を打ち出し
実践し、それを共有化で
きる仲間をつくり出すこ
とが、私たち個々の最重
要課題だと思っていま
す。間違いは正し、理不
尽には立ち向かい、仲間
を大切に、遠慮ではなく
配慮しながら、前進して
いく年にしていきたいと
考えていますので、是非
よろしく願います。

本部OB会長 福島 一三
新しい年を迎えまし
た。まずはお慶び申し上
げます。
さて、昨年は臨時大会
で「組織の団結と強化と
は何か」が問われました。
そして、19春闘の過程で
水野さん、寄本さん、池
田さんの加入を勝ち取っ

てきました。組合員の皆
さんの闘いに、心から敬
意を表します。「雨降っ
て地固まる」という諺ど
おり、JR東海労は大衆
運動の労働組合らしく、
それを乗り越えてきたの
です。根底は「同じ釜の
飯を食う仲間を信じる」
ことだと思えます。
時代は、まさに大きな
節目を迎えています。と
りわけ安倍政権の政治の
私物化は、酷すぎます。
企業の内部留保は史上最
大を記録し、一部の高所
得者はさらに高額所得
者、他方多くの国民、労
働者はさらに生活を切り
縮められています。だが、
それを許しているのも私
たち国民であり、連合で
組織している日本労働者
階級にあるのです。
安倍政権とそのブレ
ンは、中国、韓国、北朝
鮮との間に緊張関係をつ
くり、改憲のテコにしよ
うとしています。東北ア
ジアの安定にアメリカは
必要ではないでしょう
か。リニアの強行着工に
対して、その安全性、経
済性、生活・自然・環境
アセスメントなど様々な
問題のあることが、静岡
県をはじめようやく世間
に知られるようになって
きました。最近では名譽
会長・葛西と近いと言わ
れた評論家でも、公然と
「リニア建設の批判」を
上げ始めました。
OB会は、現職の闘い
を支持し共に闘います。



最先頭で闘う仲間からの

新年の決意表明

東京車両所分会

土川 節夫



新春を迎えお慶び申し上げます。

年休に対する診断書強要都労委は、昨年9月に救済命令が出て、私たちの主張が大きく通り完全勝利を勝ち取りました。この間の闘いの支援・連帯に対し、あらためてお礼申し上げます。

しかし、会社は再審査請求を行ったため、闘いは中労委の場に移りました。中労委の闘いも、本部・地本・分会が一体となり、代理人、補佐人を自前で担い闘いを展開しています。私は、診断書強要中労委・主任代理人として、闘いをリードしていく決意です。

「年休は欠勤である」「私傷病で5日を超えて欠勤する場合は、年休が確定していても診断書が必要」などと難解な主張を繰り返す会社を、私たちは確実に追い詰めていきます。

本年も、この闘いを年休裁判や年休権裁判と連帯した闘いと位置付けて奮闘していく所存です。また、会社の「間違いを間違いと認めない企業体質」を許さず、そこに働く労働者の利益を守るために奮闘していきたいと思えます。本年もよろしくお願い致します。

大阪運輸所分会

山本 圭一



明けましておめでとうございます。

私は昨年9月20日、「年休権共同本人訴訟」を3人の仲間と共に提訴しました。

2018年3月ダイヤ改正で、新幹線車掌が3名から2名となり、要員が大幅に削減されました。しかし、会社は半年後の9月13日に突然「休日勤務を1〜2泊程度実施する」とお知らせを提示してきたのです。それ以降私たちは、様々な闘いを職場からつくり出してきました。自ら資料を

作成し、世間の働く人たちの意見交換や訴え等も行ってきました。そこで分かったことは、世間では本人の意思を無視した一方的な休日勤務指定をしているところは無いということでした。それに対してJR東海のやり方はといえば、本人の意思を無視して前月25日発表の勤務指定表で、一方的に休日勤務を指定し、社員がその日を休日として休みたいと思えば、年休請求をさせています。要するに、会社は社員に、通常の勤務日に対しての年休請求と同じように、一方的に休日勤務指定日への年休請求を行わせることにより、社員の意思に関係なく休日勤務指定も会社が一方的に行えるよう意図しているのです。その対応としては、直前まで明かされず、そのまま休日勤務させたり、休日勤務を取消して休日にした

り、休日勤務指定日を休日ではなく、わざわざ労働日に変更し、その上で年休にしたりと、バラバラの対応を行いました。このような年休の取り扱い、労基法や就業規則の定めに対する不法行為です。会社の違法性を訴え、完全勝利に向けて全力で闘っていきます。

大阪運輸所分会

今田 昌二



明けましておめでとうございます。

私は昨年9月、3人の仲間と共に「年休権共同本人訴訟」を提訴しました。会社は、2018年9月13日、「おしらせ」として休日出勤を再開しました。年間休日120日は法的付与義務があります。また、大谷川さんと東京の年休裁判により年休を発給せざるを得なくなったため、休日出勤再開で要員不足を乗り切ろうとしてきました。

職場で働く私たちは、年休が出ないのも、会社の理論に騙され、日常的に飼いやられてきました。「年休の抽選順位が悪いから」「臨時列車が増発したから」。何で休日出勤するの？「36協定締結しているから」「就業規則第67条に休日出勤させること理由があるから」などと漠然と言われるがままに放置し、会社の理論にいわば加担してきたからではないでしょうか？

年休は労働日にしか請求できないのに、会社はそれを認め適法とし、かつその年休を時季変更権の行使を根拠に付与しないという違法な取り扱いをしています。このような年休を中心とした勤務に関する理不尽と、不誠実な取り扱いが会社の背景的要因に慢性的な要員不足を、年休失効や一方的な休日出勤で乗り切ろうとする会社の体質を、この裁判闘争を通して他労働組合員に訴え、さらには社会的に明らかにし、労働者の正当な権利を行使できるようにすることと、物言える職場をつくるために最後まで闘い抜きます。

大阪運輸所分会

浦谷 幸二



一方的な休日勤務指定に反対する闘いとして、仲間と共に年休権共同本人訴訟を大阪地裁に訴えました。

会社はリニア建設に向けて1円でも多くの利潤を追求するために、社員の休日、休暇を惜しむことなく奪い続けています。このことに気付かせたのは、年休裁判の立ち上げにかかる議論、普段からの職場の仲間との

議論でした。会社内でも新幹線と在来線の運転職場における勤務の扱いが違ふことに気付かされたのはごくごく最近の話です。当然、JR他社の乗務員職場では、一方的な休日勤務が指定されている職場はありません。悔しさと怒りを禁じずにはいられません。

大阪車両所分会

柳楽 関



明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

年休は、私たち労働者の権利であり、会社から享受されるものではありません。これまで、そのことを本心に理解していただいましょうか。私は、東京地裁や大阪地裁で係争されている年休裁判で気付かされました。そういう意味で年休裁判は、組合員はもとより、多くの社員に問題を提起する闘いだと思えます。

昨年9月、私が起こした年休権に関する本人訴訟では、さらに会社の年休に対する不当な取り扱いを具体的に明らかにしていきます。同日提訴した大阪運輸所分会3名の仲間、そして、東京と大阪の場で年休裁判で闘っている仲間と連携しながら、闘いを進めていきます。ご支援よろしくお願ひします。